

経済界

Special Interview

藤原 浩(コダック社長)

「フィルム事業からBtoB企業へ変貌する」

平成24年8月21日発行・発売
(隔週火曜日発行・発売)
第47巻第17号(通巻974号)
昭和45年9月3日第3種郵便物認可
定価600円

2012 No.974

9.4

三木谷浩史・楽天社長が
英語社内公用語化の真意を語る

村上憲郎・元グーグル名誉会長が
伝授する「必要なことしかやらない」
最強の勉強法

語学スクールトップが説く
英語上達術

を鍛える

英語力

もう「苦手だから」は通用しない



News Report

テルモが本命ソニーに割り込み
オリンパス再建支援を巡る泥沼劇

イチ押し 情報アラカルト

DHL

DHLが上海に「北 アジアハブ」を構築 し対日戦略を強化

世界屈指のメガインテグレーター（総合物流企業）DHLが、いよいよ上海に超下級の物流ハブを稼働させた。7月12日中国・上海の浦東国際空港にオープンした「北アジアハブ」は、同社がアジア太平洋地区に構築する強固な国際エクスプレス（航空貨物）網をさらに強化する目的を担う、まさに戦略拠点。現行の「香港」「バンコク」「シンガポール」のハブ3拠点体制では十分に対応しきれなくなった中国中部（長江デルタ地域）、日本、韓国を新たに守備範囲とするも

の。敷地面積約8万8千平方メートル、投資額1億7500万米ドルにも上る一大プロジェクトで、もちろん同社にとってアジア最大の拠点だ。

上海を中心とする「長江デルタ地域」は、まさに中国の成長センターで日系企業の進出数も2万社を超える。一方DHLはこれまで北アジアのハブとし



会見に臨んだDHLジャパンの山川
丈人社長（左）とトニー・カーン常務

て香港を活用していた。しかし日中間の貿易の伸びとともに物流需要も急増、加えて日本企業の「中国シフト」やサブライチエーションのさらなる追求という企業側の要望から、両国間の物流スピードのさらなる加速化が必須と判断、10年の歳月を掛けて構築したのがこの北アジア（上海）ハブと見ていいだろう。ちなみに同ハブの開設でこれまで香港に集中していた物流量のうち4割が上海にシフトする模様で、これによりキャパシティに余裕の出た香港は今後も増え続ける日本・東南アジア物流を捌く「中継地点」としても引き続き活躍する。

「お客さまから最初選ばれる『ファーストチョイス』を目指します」（デー・エイチ・エル・ジャパンの山川丈人社長）

北アジアハブの稼働で、例えばDHLを使った日中間の航空貨物便は、既存の「香港ハブ」を経由したルートと比べ概ね4時間短縮されるという。

現在DHLは日本国内に3つのゲートウェイ（成田、中部、関西）と31のサービスセンター（東日本15、中部6、西日本10）、160のサービスポイント（発送受付カウンター）、そして270便／週を誇る。日本に進出して今年40年を迎えるDHLは対日戦略をさらに加速させる意気込みだ。

ジーニア&アーレイ

ジーニア&アーレイ の畑社長が「鳥取観 光」の旗振り役に

LEDベンチャーのジーニア&アーレイ率いる畑宏芳氏が、何と鳥取市観光振興の「旗振り役」に名乗り上げた。しかもそのキーワードが「ハウステンボス（HTB）」というからビックリ。

7月に畑氏は「鳥取市ハウステンボス研究会」の会長に就任、HTB社長の澤田秀雄氏（HIS会長）も研究会の名誉顧問として招聘した。また畑氏は同時に

畑宏芳・ジーニア&アーレイ社長



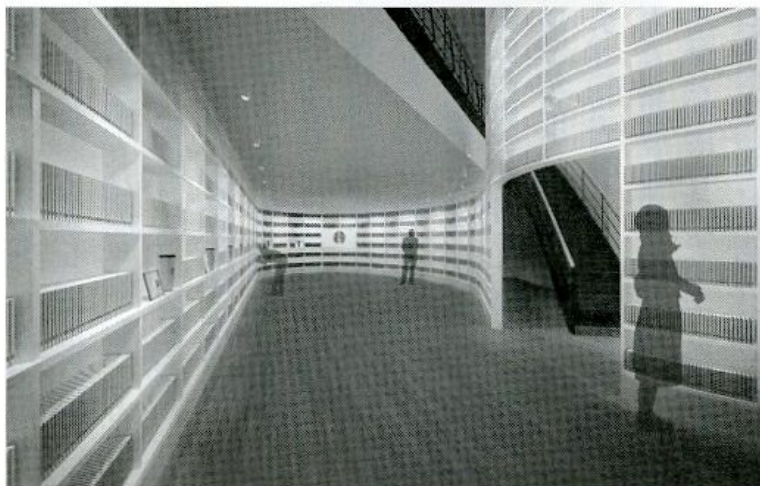
「鳥取市観光大使」を同市長より正式に拝命している。きっかけは、LED製造のファブレス化を模索する畑氏が、この種の製造工場が集中する鳥取を訪れたこと。「空港と市内が近く綺麗な日本海と緑多い中国山地もすぐそば。加えて食べ物も美味。県外ではほとんど知られていない絶品のシロイカや、これを追って対馬海峡を越えてくるマグロなど、首都圏の方々にはほとんど知られていない観光資源が山ほどあります」と畑氏の鼻息は荒い。

畑氏はこの試みを実行に移すに当たり、黒字転換したHTBのノウハウに着目、面識のある澤田氏に直談判して協力を仰いだという。今後は第2段階として鳥取市とHTBとの姉妹都市を計画している模様で、「鳥取の海産物をふんだんに使った料理をHTBのホテルで提供するなどして、国内はもとより中国人観光客などにもアピールできればと考えます」と畑氏の夢は膨らむ。

スターバックス

スターバックスが初のポップアップストアを期間限定で出店

空間プロデューサーで名高い新進気鋭のnendo代表・佐藤オオキ氏を起用しエスプレッソドリンクの世界観を表現——スターバックスコーヒー ジャパンが9月9日から期間限定スペース「Starbucks Espresso Journey」



「スターバックス エスプレッソジャーニー」

らうらしい。「『書齋』のような空間をデザインしました。まるで自分にとって大切な1冊の本のように、自分だけの大切な1杯と出会う場所となることを願っています」と佐藤氏はアピールする。

「Starbucks Espresso Journey」東京都渋谷区神宮前5-11-5 BAIT'S URT GALLERY
●期間／9月9日(日)～30日(日)

(スターバックス エスプレッソジャーニー)を東京渋谷の神宮前にオープンする。もちろん同社初の試みで、同社が腕によりを込めた、「スターバックスラテ」「キャラメルマキアート」など最高のエスプレッソドリンクやこだわりの世界観を味わえるスペースだ。また限定ドリンク、グッズも用意、バリスタを体験できるコーナーもあるというか

●営業時間／平日11～18時(土日祝10時～19時) ※9月9日(日)は13時より営業
●取り扱いドリンク／①限定「ダブルショットクラシックラテ」「ダブルショットクラシックカプチーノ」②定番エスプレッソドリンク7種
●価格／一律500円(税込み) ※全ドリンクショットサイズ、ホットのみ提供。入場無料。